

# 2017.3 3 りの誇り まのまち ★ ぶちぎらい

## 下商簿記部(日商簿記1級プロジェクト)



動を続けています。

メンバーは18人。部は平日に2時間半、土曜日に6時間活動しています。部活では、同大学がインターネットで提供する授業をタブレット端末で受講するほか、練習問題を何度も繰り返し解いたり、電卓を早く正確に打つ練習などをしてもらっています。問題が解らないときには、同じ目標を持っている仲間を教えてもらうといった、助け合うことの大切さも活動を通じて学ぶことができます。

### 仲間と支え合いながら

今回、下関商業高等学校の簿記部(日商簿記1級プロジェクト)の中から、3人の1級合格者が出ました。同時に複数人が合格することとは県内の高等学校で初めての快挙です。今回は、最難関試験の日商簿記検定1級に挑戦する下商簿記部(日商簿記1級プロジェクト)の皆さんを紹介します。

### 「職業会計人」を育てるために

同校は平成26年に高崎商科大学(群馬県高崎市)と高大連携協定を締結。活動を通じて、簿記会計の能力を身に付け、「職業会計人」「公認会計士や企業会計人など」を育てるために、卒業までに1級合格!という目標に向けて同部は日々活

ちはそれぞれ、公認会計士や税理士になるという明確な目標を持つことができました。同じ目標を持った仲間がいることで、検定前の精神的に辛い時期を乗り越える力になっています。

### 目指せ! 1級合格

「1級の試験は本当に難しく、生徒たちは心が折れそうになる時期が必ず訪れます。そのときに生徒に向き合い、やる気を保つようにしてあげることが大切です。簿記の力で社会貢献できるような人材に育ててほしいという願いを込めて、日々生徒たちを見守っています」と顧問の福田先生からは、生徒を思う気持ちが伝わってきました。将来の夢はそれぞれ違いますが、今の目標は、日商簿記検定1級に合格することです。目標に向かって、部活での訓練を重ねて、これから試験に果敢に挑戦していきます。

- ①高崎商科大学の  
小島一富士先生
- ②~④タブレットを使って、  
インターネットで提供される  
授業を受講
- ⑤日商簿記1級に合格した  
3人(左から内田高人くん、  
工藤快人くん、石田騎くん)
- ⑥下商簿記部(日商簿記1級  
プロジェクト)の皆さん

